



2026年9月9日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

12,631万kW

11時、126,308 MW (10
エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

2,122万kW

11時30分、21,218 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

258万kW

15時、2,579 MW

◇ 再エネ最大需要
比

29.4%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

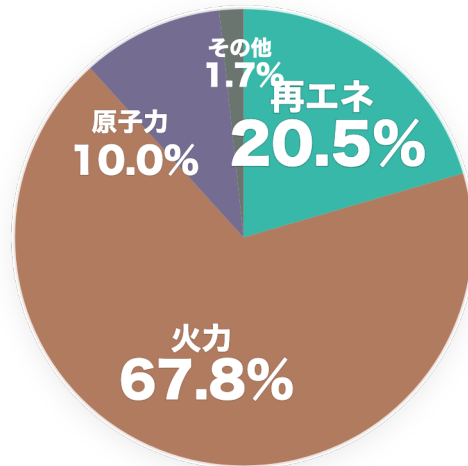
東京

126 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

115 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 43.3%

34.7 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

20.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

**太陽光と夕方需要の時間
差**

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に4,407万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで43.3%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	20.5%	発電電力量ベース
再エネ発電量	507 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,477 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	29.4%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	20.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	43.3%	34.7	0.0	送電 7.3
東北	27.7%	89.5	0.0	送電 115
東京	13.7%	97.6	0.0	受電 126
中部	21.3%	69.1	0.0	受電 76.4
北陸	35.4%	28.6	0.0	送電 8.2
関西	15.1%	53.7	0.0	受電 43.9
中国	15.8%	28.3	0.0	送電 18.2
四国	24.3%	26.1	0.0	送電 37.5
九州	26.7%	77.1	0.0	送電 38.8
沖縄	9.9%	2.8	0.0	—



2026年9月9日の供給実績

北海道エリア

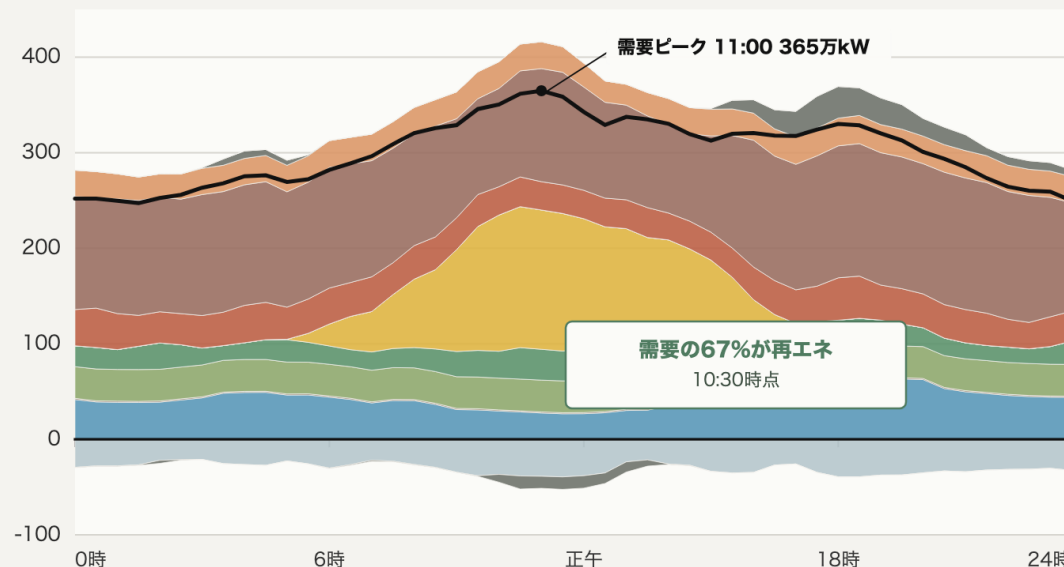
再エネ

34.7GWh

(発電電力量ベース43.3%)

北海道エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 80.1GWh
(801万kW)

再エネ	34.7GWh (43.3%)
太陽光	10.0GWh (12.5%)
水力	10.4GWh (12.9%)
風力	6.0GWh (7.5%)
バイオマス	8.0GWh (9.9%)
地熱	0.3GWh (0.4%)
LNG火力	8.2GWh (10.2%)
石炭火力	28.9GWh (36.1%)
石油等火力	6.6GWh (8.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.7GWh (2.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.1GWh

需要ピーク

11:00、365万kW

連系線・その他

7.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク148万kW、風力ピーク37万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.6%だった。



2026年9月9日の供給実績

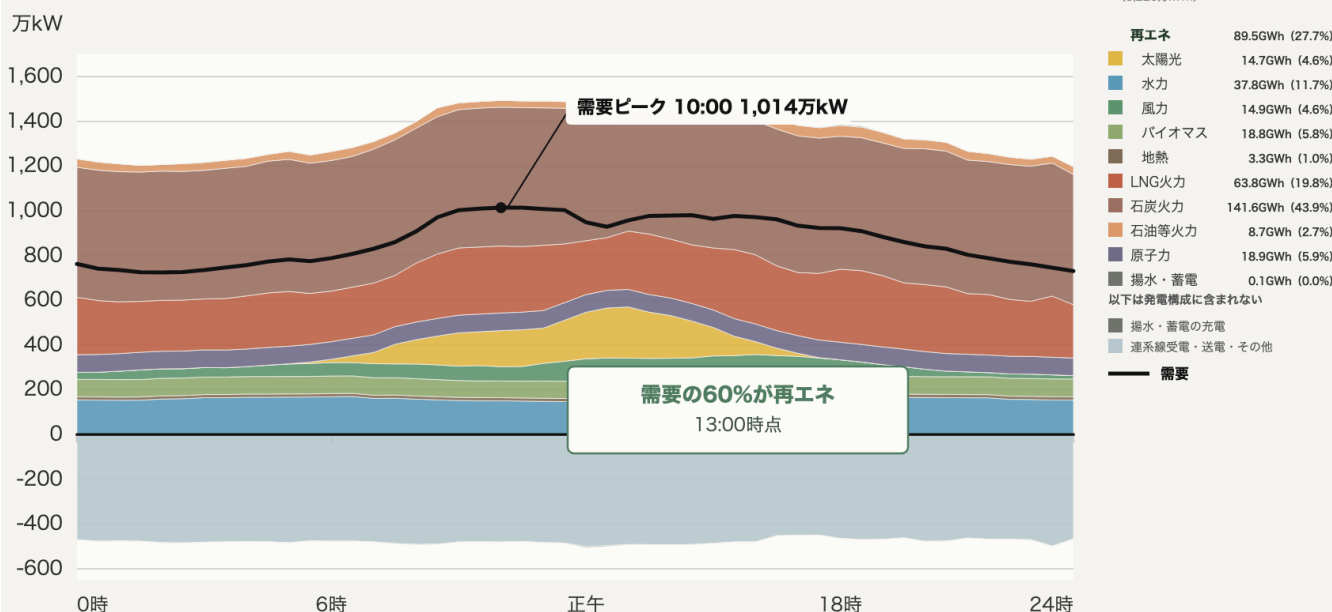
東北エリア

再エネ

89.5GWh

(発電電力量ベース27.7%)

東北エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

322.6GWh

需要ピーク

10:00、1,014万kW

連系線・その他

114.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク228万kW、風力ピーク110万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.9%だった。



2026年9月9日の供給実績

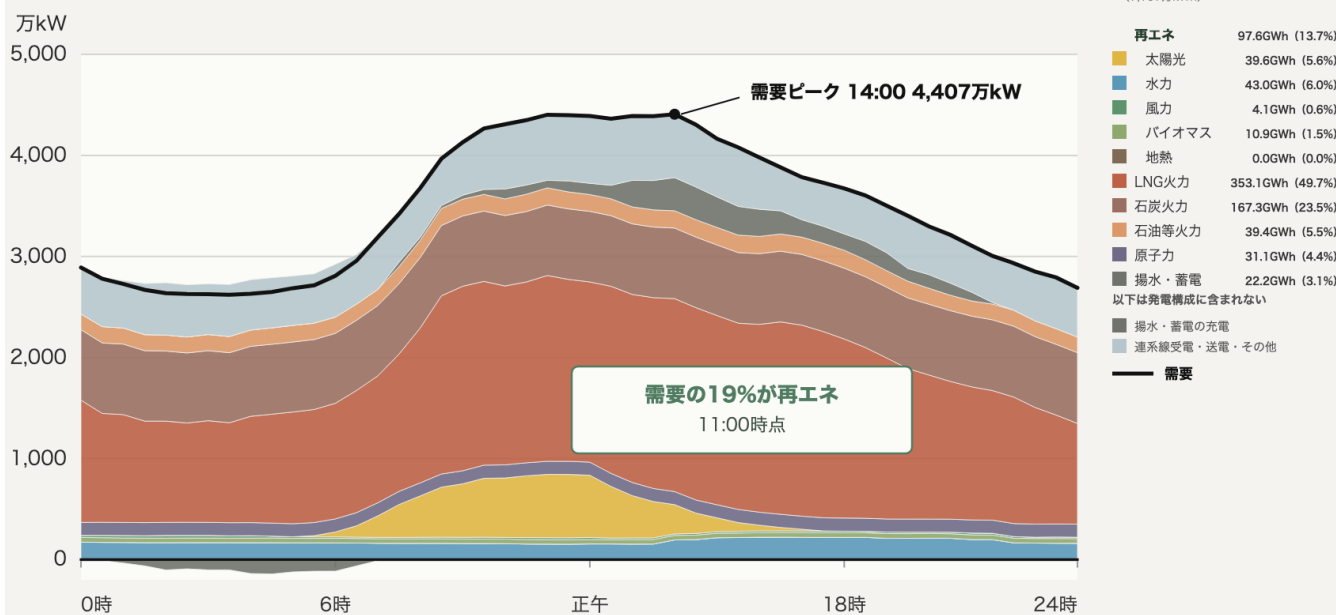
東京エリア

再エネ

97.6GWh

(発電電力量ベース13.7%)

東京エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

710.8GWh

需要ピーク

14:00、4,407万kW

連系線・その他

125.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

6.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク627万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.2%だった。



2026年9月9日の供給実績

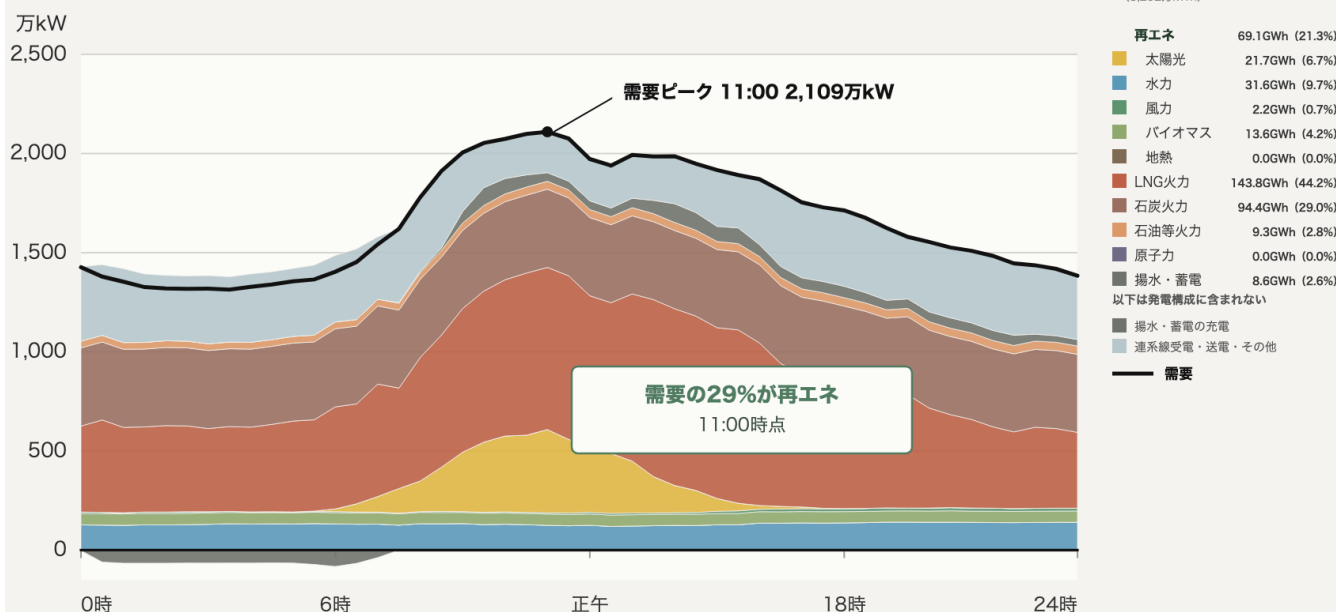
中部エリア

再エネ

69.1GWh

(発電電力量ベース21.3%)

中部エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

325.2GWh

需要ピーク

11:00、2,109万kW

連系線・その他

76.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

4.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク420万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.8%だった。



2026年9月9日の供給実績

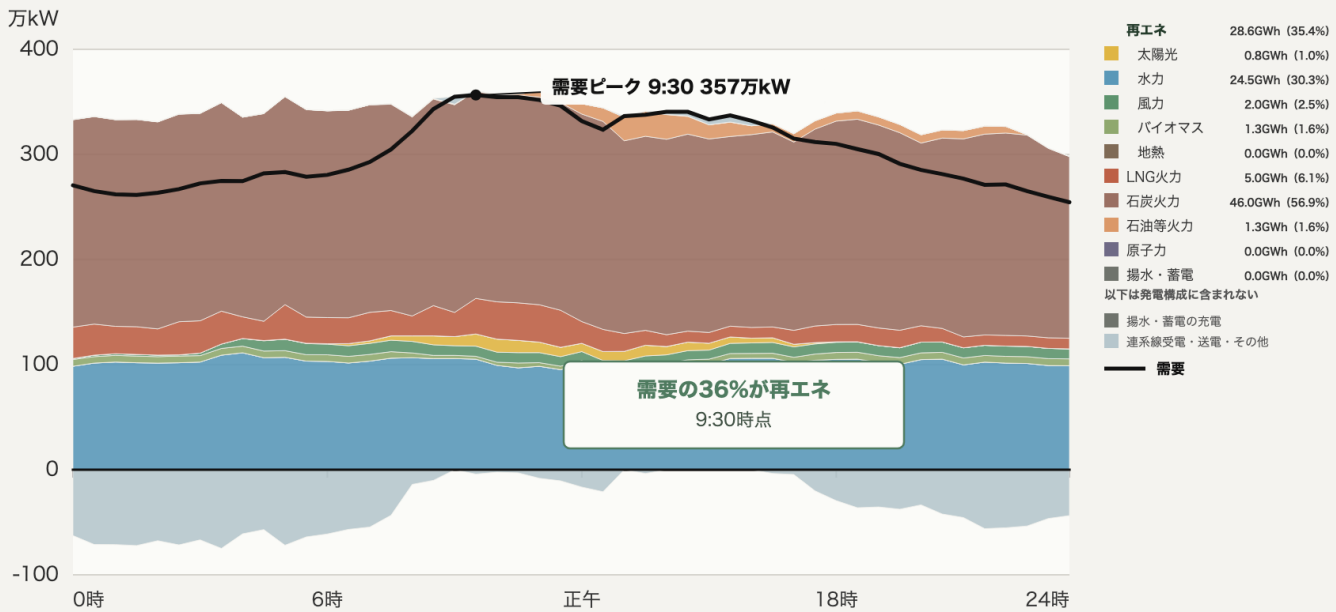
北陸エリア

再エネ

28.6GWh

(発電電力量ベース35.4%)

北陸エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.9GWh

需要ピーク

9:30、357万kW

連系線・その他

8.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク12万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.5%だった。



2026年9月9日の供給実績

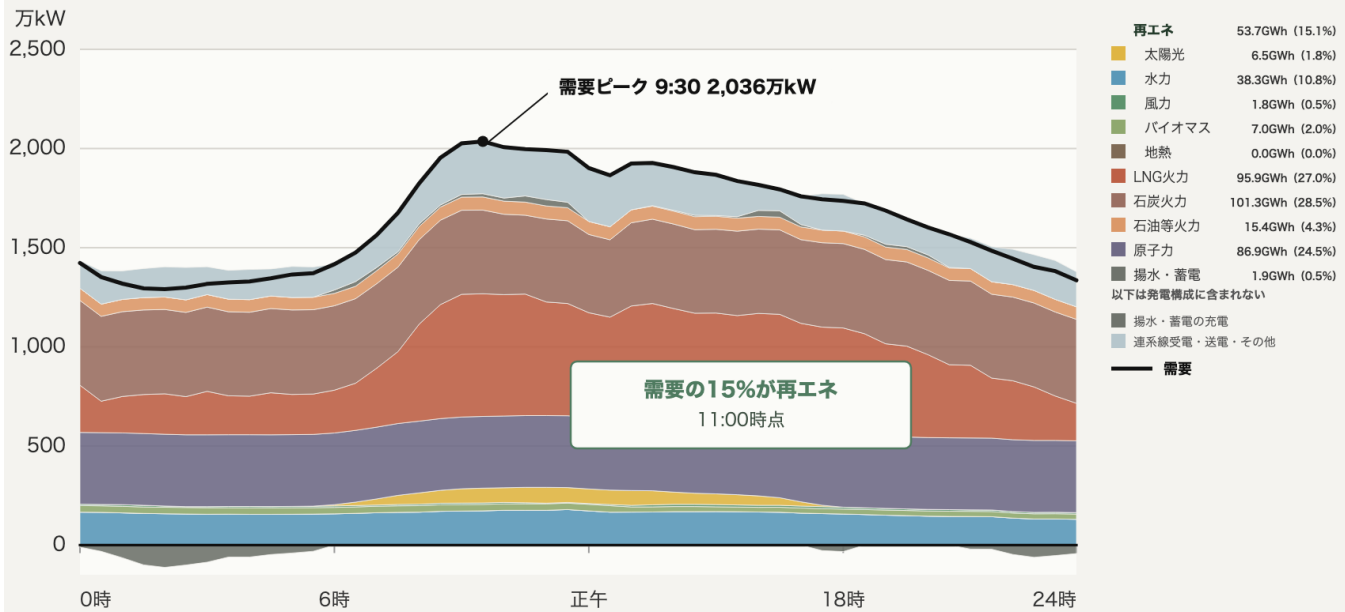
関西エリア

再エネ

53.7GWh

(発電電力量ベース15.1%)

関西エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

355.1GWh

需要ピーク

9:30、2,036万kW

連系線・その他

43.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク80万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は15.5%だった。



2026年9月9日の供給実績

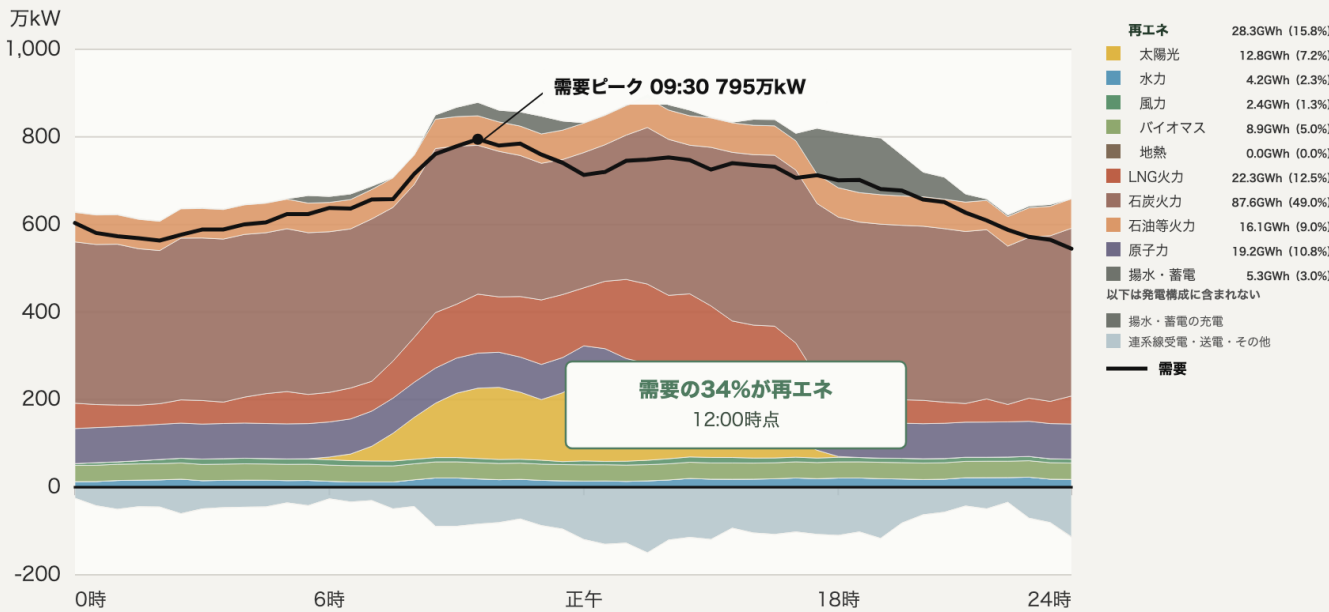
中国エリア

再エネ

28.3GWh

(発電電力量ベース15.8%)

中国エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

178.9GWh

需要ピーク

09:30、795万kW

連系線・その他

18.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク183万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.0%だった。



2026年9月9日の供給実績

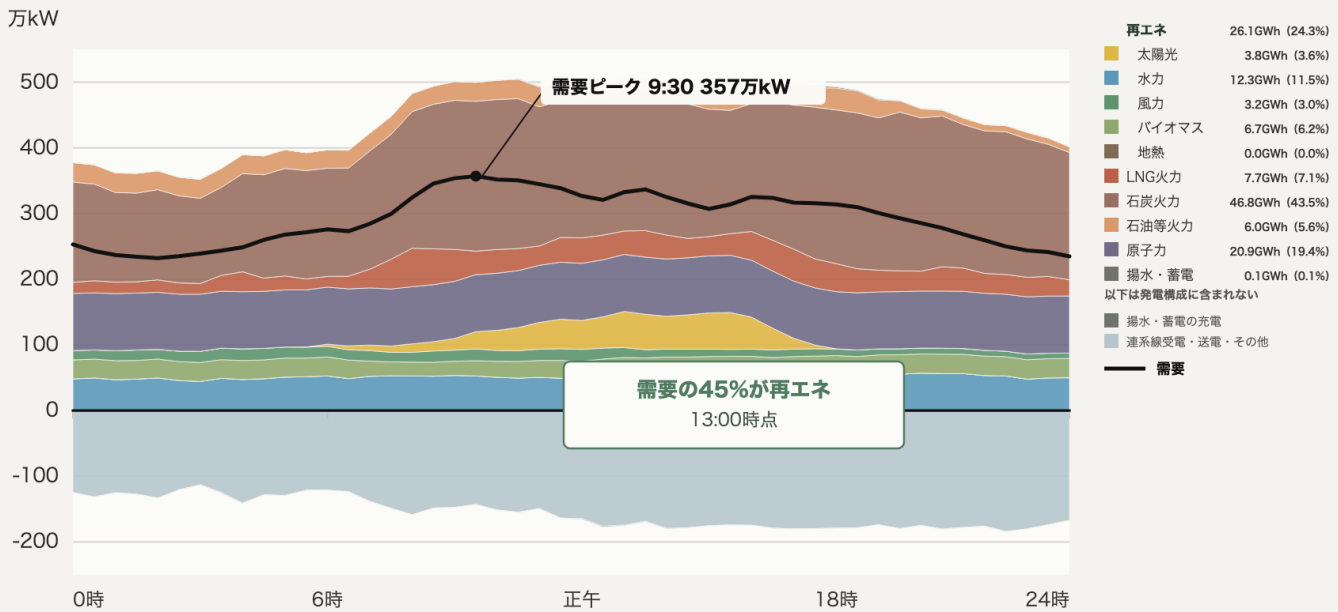
四国エリア

再エネ

26.1GWh

(発電電力量ベース24.3%)

四国エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

107.5GWh

需要ピーク

9:30、357万kW

連系線・その他

37.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク56万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.5%だった。



2026年9月9日の供給実績

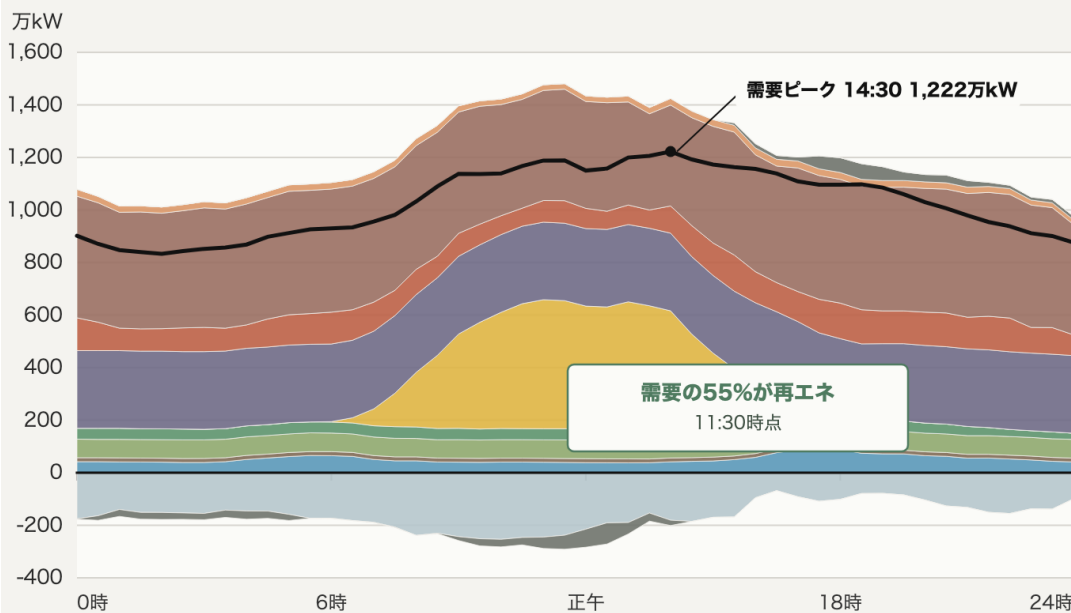
九州エリア

再エネ

77.1GWh

(発電電力量ベース26.7%)

九州エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 289GWh
(2,886万kW)

再エネ	77.1GWh (26.7%)
太陽光	34.9GWh (12.1%)
水力	12.4GWh (4.3%)
風力	9.3GWh (3.2%)
バイオマス	17.0GWh (5.9%)
地熱	3.5GWh (1.2%)
LNG火力	24.8GWh (8.6%)
石炭火力	107.8GWh (37.4%)
石油等火力	5.7GWh (2.0%)
原子力	70.9GWh (24.6%)
揚水・蓄電	2.3GWh (0.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

288.6GWh

需要ピーク

14:30、1,222万kW

連系線・その他

38.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク491万kW、風力ピーク44万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.4%だった。



2026年9月9日の供給実績

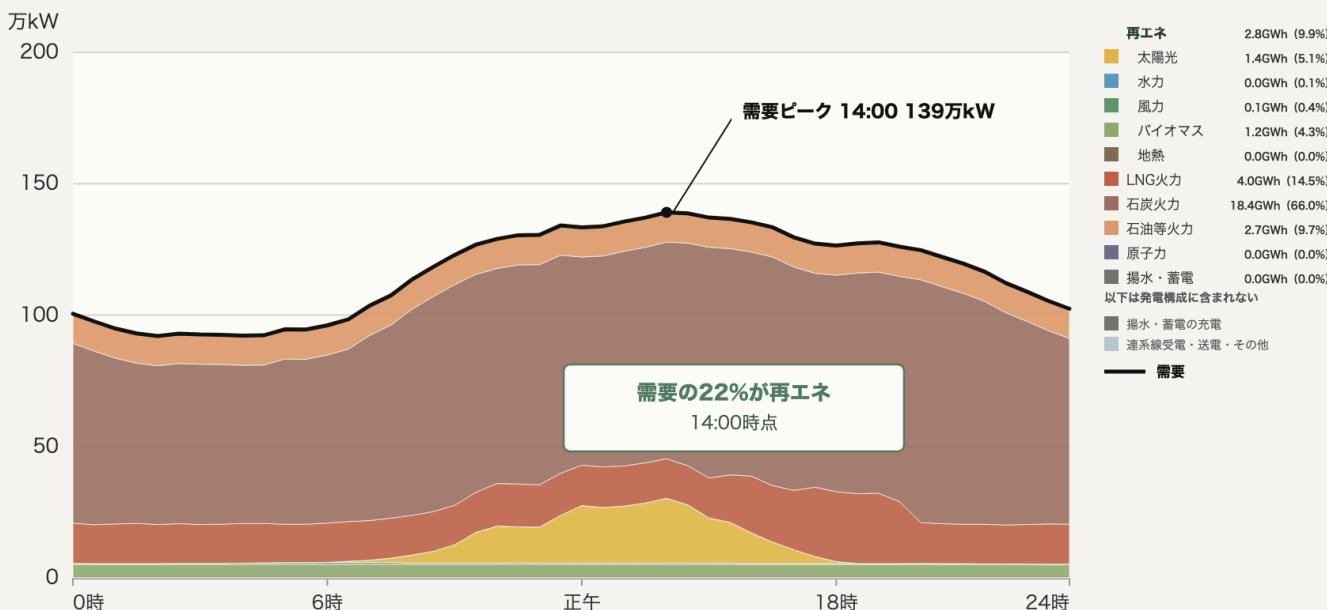
沖縄エリア

再エネ

2.8GWh

(発電電力量ベース9.9%)

沖縄エリア 2026年9月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

27.9GWh

需要ピーク

14:00、139万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.8%だった。